

第422回 番組審議会

1. 日 時 平成19年6月19日(火) 午後1時30分～

2. 開催場所 テレビ岩手 6階大会議室

3. 委員総数 13名

出席委員 9名

出席委員	委員長	藤元 隆一
	副委員長	橋田 純一
	委員	和田 利彦
	委員	梅村 俊男
	委員	高橋 三男
	委員	帷子 利明
	委員	増川 博之
	委員	嶋村 正
	委員	上野 克幸

欠席委員	委員	千葉 則茂
	委員	西郷 喜代子
	委員	佐藤 晴久
	委員	早瀬 藤二

社側出席者	中野 士朗 (代表取締役会長)
	矢後 勝洋 (代表取締役社長)
	阿部 孝夫 (常務取締役)
	高橋 甫和 (取締役技術局長)
	千葉 正範 (営業局長)
	野田 喜代志 (制作局次長)

事務局	青山 尚之 (編成局長)
	高橋なおみ (編成局編成部主任)

4. 議 題

1. 愉快的日曜日（新番組）
6月3日（日）午後4時30分～5時25分
2. その他ご覧になった番組についてのご意見

5. 資 料

資料として以下のものを配布

- ・視聴者からのご意見

6. 議事の概要

社側説明

番組審議会の議題「愉快的日曜日」は、6月3日からスタートした新番組で、毎週日曜日夕方4時30分～5時25分に放送しております。今日は、初回の6月3日放送分のご意見をお願い致します。

委員側意見

- ・新番組ということで、総じてさわやか、和やかな雰囲気番組にできあがったのではないかと。
- ・初回ということもあってアナウンサーにぎこちなさがあった。料理担当のアナウンサーの衣装も合っていないし、ミスもあり、ボクシングの八重樫選手を呼び捨てにするなど、メリハリが足りなかった。
- ・タイトル「愉快的日曜日」を前面に出すためには、もう少し内容の吟味が必要ではないかと。
- ・100kmマラソンは、60歳の方の挑戦ということもあり、賛同もあった反面、何故宮城県の方を取り上げたのかという単純な疑問もありました。
- ・ニュースの週間ダイジェストですが、取り上げた内容の基準は何か、また1つ1つが駆け足的になっていた部分があるのではないかと、日曜日の夕方にあえてダイジェストを放送する必要があるのかという意見もありました。
- ・男の料理ですが、メモを取りやすかった、料理の先生のキャラクターが良かったなど評価する反面、メタボリックの問題もあるのでカロリー表示をして欲しかった、料理中に話しすぎではないかという意見もありました。
- ・番組予告についてですが、当日夜の番組でお薦めの番組を紹介してもらったら良かった。さらに、来週一週間の予定も取り上げていただければ良かった。
- ・番組の視聴率についても教えて欲しい。

7. 審議内容

別載のとおり

8. 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置及びその年月日
特記事項はないが、関連部署に議事録を配布するなど関係者に審議の内容を伝えた。

9. 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合における
その公表の内容、方法及び年月日
 - ・ 自社制作番組「あなたと歩むテレビ岩手」
(平成19年6月26日(火)午前11時50分～11時57分放送)で、審議の概要を放送。
 - ・ 支社・支局に議事録を設置
 - ・ 当社のインターネットのホームページで議事録を公開。

〈議事の内容〉

事務局 番組審議会の議題「愉快的日曜日」は、6月3日からスタートした新番組で、毎週日曜日夕方4時30分～5時25分に放送しております。今日は、初回の6月3日放送分のご意見をお願い致します。それでは委員長、宜しくお願いします。

委員長 それでは、ご意見をお願いします。

委員 全体の字体や色使いのデザインが、番組名とマッチしていて良かったという印象です。パパの料理は、夕方の時間にはタイミングが良いと思いました。料理の先生まで会話に加わり、和やかな雰囲気を上手く出していました。

「オープンガーデン」の紹介では、期間や場所など概要をもう少し案内した方が良かったと感じました。ニュースの週間ダイジェストは、スポーツや普通のニュースが混在していて、選んだ基準が分かりませんでした。番組の最後に、放送の内容をまとめてもらおうと、視聴者にはやさしかったのではないかと感じます。全体に明るくて、さわやかで、見ていて疲れない好感が持てる番組で、良かったと思います。

委員 全体的には、テンポも良くて、内容構成もまずまず良かったと思います。しかし日曜日の夕方で、どれ位視聴率が取れるものか疑問に思いました。時間帯が視聴するのに難しいという印象があります。「サンデーニュース」のコーナーでは、ボクシングの八重樫選手を取り上げていましたが、「八重樫」と呼び捨てにしている場面がありまして気になりました。料理のコーナーでは、メタボリック症候群が提唱されているこの頃なので、カロリーも示されたら、もう一味アップしたと思います。「愉快的お話」のコーナーは、一番興味を持って拝見しました。60歳で100kmマラソンに挑戦は、意欲も意気込みもすごいと思いました。「愉快的お話」というよりは「爽快なお話」という印象を受けました。ただ、ここに参加するまでの準備とか用意がいかに大切かを合わせて紹介された方がいいのではないかと感じました。日曜日の午後の時間帯なので、当日夜の案内も加えてもらおうと、出かけようと思っている方には、少し情報になるかと思いました。

委員 中味が、新味がある内容ではないのですが、上手く組み合わせでリニューアルしていて、気軽に見られる点は良かったと思いました。料理のコーナーは、メモを取りながら見ていたのですが、非常にメモが取りやすかった。途中と最後にも説明が出ていて、とても親切でした。ニュースは、本数が多くて結構ですが、駆け足的に流していく感じがするので、もう少しゆったり紹介してもいいのではないのでしょうか。マラソンの話ですが、どうして宮城の方に焦点をあてたのでしょうか。

か？団塊の世代にスポットを当てるのかと考えたが、次回の予告では違うテーマでしたし、話自体は良く出来ていたが、何故宮城の方にスポットを当てたのかを教えて欲しい。最後の週間ダイジェストですが、日曜の夕方に一週間を振り返ってもどうなのかなあという気がしました。

委員 新番組ということで、少しぎこちなさがありました。全体としては、やわらかいイメージですが、逆に言えばメリハリがなかったのではないかという気がしました。日曜日の夕方4時30分は、難しい時間帯ではないかと思います。私も買物に行っているか、テレビを見るときは、スポーツ番組が多いですね。そういった中で、このソフトな番組がどの位定着するかというのは、かなり難しい問題だと思います。週休2日となり、日曜日の夕方は月曜日からの仕事に備えて、戦意を高揚させる人も中にはいるのではないのでしょうか。具体的な中味ですが、ニュースや週間ダイジェストは非常に良かったのですが、男の料理は、違和感がありました。愉快なお話は、宮城の人を取り上げるより、出来れば岩手の人を取り上げて欲しかった。新番組ということなので、これからの反響をみながら、作り変えていくと思いますが、大いに期待しております。

委員 軽く見せてもらいました。最初の「藤村屋」は、アナウンサーの衣装が合わないと思いました。愉快を変に演出しているように思いました。料理中に話しすぎの気がしましたが、料理の先生が素人とは思えないくらいしっかり対話が出来ていて、好感が持てました。「愉快的話」の100kmマラソンは、良い内容だったと思いますが、どちらかといえば、夫婦愛とか人生の再スタートといった「愉快」というよりは、重い内容だったのではないのでしょうか。あの素材で言えば、たくさんの方の参加した動機や感想を明るく伝えた方が「愉快」な内容になるのではという印象を受けています。週間ダイジェストが最後に出てきますが、出すのであれば最初に構成して、あの時間帯は、これからの1週間の県内・県外の内容を流すと1週間はじまりの感じがするのではないのでしょうか。今後に期待しております。

委員 タイトルどおり、重い話題を避けてという趣旨に副った努力が見られました。「愉快的話」のコーナーは、感激・感動を受けるという面では良かったと思いますが、このコーナーの今後の取材に関しては、かなりの情報力、取材力が必要になってくると感じました。この番組の後は「笑点」がありますので、それに繋げて見て行きたいと思います。

委員 非常に盛り沢山の内容で、気楽に見れて「愉快的日曜日」という気分になれる番組だったと思います。オープンガーデンの紹介は、この季節に合ったものを取り上げて、非常に良かったと思います。皆さん言われていたように、この日曜日の

夕方の時間帯が、どの位の人が見られるのかというのは疑問で、この番組が定着していけば、視聴率が上がり「5きげんテレビ」のように親しまれる番組になって行けばいいのかなと思います。

委員 どういう見方をすれば良いのかと考えたときに、生活情報の総合的な番組に挑戦するということだったのかなと思っているのですが、番組を統合化して、付加価値を付けて、色んなメニューで視聴率を上げていくという作業は、且つ日曜の夕方というのは、大変な決断だと思います。視聴者側の好みが多様になって来て、且つ年齢層も幅広くなって来ているので、それらを想定しながら、この番組に入っていたのだと思います。印象に残ったのは、ひたすら県民の生活の質の向上を意識しているのではないかという感じで見てみました。それを「5きげんテレビ」に出していないアナウンサーが役割分担をして頑張っている。テレビの最終的な目標は、消費生活のトータルなメニューを情報番組と称して送り込んでくるのですが、今回の番組は、テレビショッピングと違う形で、視聴者にただ心地よさ、自分の近所にオシャレな暮らしをしている人がいるんだなど、自分もやってみるかというところにねらいを定めて作っている健全性が担保できれば、この番組がねらっている方向に行くのではないかと思います。司会の2人のアナウンサーは、座っていますが、立った場合との違いが気になりましたし、視聴者の年齢層はどこにターゲットを絞ってはしまったのか気になりました。

委員 欠席の委員よりメモを預かっておりますので、その内容を含めてまとめますと

- ・新番組ということで、総じてさわやか、和やかな雰囲気の番組にできあがったのではないかと。
- ・初回ということもあってアナウンサーにぎこちなさがあった。料理担当のアナウンサーの衣装も合っていないし、ミスもあり、ボクシングの八重樫選手を呼び捨てにするなど、メリハリが足りなかった。
- ・タイトル「愉快的日曜日」を前面に出すためには、もう少し内容の吟味が必要ではないかと。
- ・100kmマラソンは、60歳の方の挑戦ということもあり、賛同もあった反面、何故宮城県の方を取り上げたのかという単純な疑問もありました。
- ・ニュースの週間ダイジェストですが、取り上げた内容の基準は何か、また1つ1つが駆け足的になっていた部分があるのではないかと、日曜日の夕方にあえてダイジェストを放送する必要があるのかという意見もありました。
- ・男の料理ですが、メモを取りやすかった、料理の先生のキャラクターが良かったなど評価する反面、メタボリックの問題もあるのでカロリー表示をして欲しかった、料理中に話すぎではないかという意見もありました。
- ・番組予告についてですが、当日夜の番組でお薦めの番組を紹介してもらったら良かった。さらに、来週一週間の予定も取り上げていただければ良かった。

・番組の視聴率についても教えて欲しい。

社 側 この番組が出来た経緯ですが、平日は「5きげんテレビ」が10年以上になり定着しておりまして、土曜日は「どこか行こうよ」で、日曜日に生の番組を放送しますと、テレビ岩手としては、毎日情報性を持たせられることと、臨機応変に対応できる時間が持てるということで始まりました。しかし午後4時30分は難しい時間帯と感じております。平日は仕事リズムが出来上がっておりますが、日曜日のこの時間帯は、マニュアルにないゆったりとした時間と考えまして、「気楽に」を意識しました。コンセプトとしては、団塊の世代のライフスタイルにアプローチするコーナーを1つでも作って、次の番組「笑点」の視聴率の恩恵も受けながら、存続して行きたいと思っています。

特集ですが、キーになる1つで、団塊の世代をターゲットに、いろいろ取材したところ、意図にぴったり当てはまった方が宮城の方でした。夫婦の絆など普遍的な感情を持っていただけるかと思い取材しましたが、皆様のお話を伺うと、やはり県外の方というのは、ひっかかったのかと感じました。ニュースの週間ダイジェストですが、1回目終了後話し合い、このコーナーは「今週からの動き」に変更しました。「5きげんテレビ」の告知は、新しい視聴者層を取り込むために入れています。

久しぶりに新番組を立ち上げさせていただいて、皆様のご意見を参考に、よりよい番組作りをしていきたいと思っております。

社 側 この時間帯は、弊社も他局もレギュラー番組を編成していませんでした。そこにテレビ岩手は新番組を編成して、視聴率は6.3%、平均点でした。前番組（ネット）が4%だったので、まあまあという感じです。男性も在宅している時間なので、中高年の男女に気軽に見て欲しいと思っています。

予告スポットは、初回分は10日間で200本。2週目からは放送日4日前から1日5本から10本放送しております。

委員長 他に何かありますでしょうか。では、事務局にお返しします。

社 側 それでは、これで6月度番組審議会を終了させていただきます。